

心に太陽を

令和3年度 なかよし楓月間 (11/1~11/26)

テーマ『自分や友だちのよいところを見つけ、伝え合おう!』

国や県の動きに合わせ、岩村田小学校では毎年この時期に『なかよし楓月間』を設けています。今年度のテーマは『自分や友だちのよいところを見つけ、伝え合おう!』です。月間中には、校長講話をはじめ、人権教育に関わる授業参観や人権同和講演会、児童会が中心となって全校へと広がった“なかよしスマイル”や、“なかよし〇〇”をテーマにした姉妹学級交流会などを行い、校内のいたるところで感謝の気持ちを伝え合う姿が見られました。

学校だより『心に太陽を』第8号では、『なかよし楓月間』の様子や主な行事予定などをお知らせいたします。

森泉雄二校長先生の講話 『こだまでしょうか』～なかよし楓月間によせて～ (テレビ放送)

皆さんは、「こだま」って知ってますか。

山に行った時に「ヤッホー」って叫ぶと、自分の声が山にぶつかって「ヤッホー」ってかえってきます。言った言葉がそのまま返ってくるのが「こだま」、「山びこ」とも言います。これから、『こだまでしょうか』という詩を紹介します。金子みすゞという人の詩です。<朗読>

「この詩は、『こだま』や『やまびこ』のこと?」…かという、『こだま』だけではなく、『何か』も一緒だよ、って作者の金子みすゞさんは言うんです。□のところには何が入ると思いますか。みすゞさんは、こう書いています。『だれでも』です。

皆さん、こんなことはありませんでしたか。転んで「痛い」と言った時、お父さんお母さんは「痛かったね」と、私たちの痛さを丸ごと受け入れてくれて、返してくれました。こだまは、「ヤッホー」と言ったら「ヤッホー」と半分の大きさになって返ってきますが、「痛かったね」とお父さんお母さんが返してくれた時、少し気持ちが楽になって、痛さが半分になったことはありませんでしたか。また、プールの端まで初めて泳げて、「頑張ったよ」と言った時、「すごいね、頑張ったね」と返してもらえたら…喜びは2倍になるよね。

でもね、もし、「痛い」と言った時、「痛くない」と返されたり、「頑張ったよ」と言った時、「それだけ?もっと頑張るなさい」と言われたら…、悲しいよね。返す言葉によっては悲しみを半分に、喜びを2倍にしてくれそうです。あなたはどちらの言葉が好きですか。

さて、今から10年前の寒い寒い日に、日本で大きな地震がありました。この体育館よりも高い津波が押し寄せてきて、たくさんの方が家族を亡くし、たくさんの方が住む家をなくし、日本中の人々の気持ちが暗く沈んでいました。この時に、テレビのコマーシャルで繰り返し繰り返し流されたのが、この詩でした。この詩が心の中でこだましているうちに、みんな、どこか優しくなれたように思います。日本中の人々が、募金をしたり、被害にあったところへ出かけていってボランティアをしたりしましたが、それを後押ししてくれたのが、この言葉だったのだと思います。このコマーシャルの最後に、こんな言葉が映し出されました。それは、「やさしく話しかければ、やさしく相手も答えてくれる」という言葉です。今度は、言葉を返す人でなく、話しかける方の人の言葉です。「あそぼう」とか「ごめんね」とって言葉がそうかな。

ケンカをした後や言い合いをした後、仲良くなるには、どう話しかければいいんだろう。みんなは、「ばか」とって言う? 「あそばない」とって言う? それとも、「ごめんね」かな? 私たちは、人の心をうれしくしたり、逆に、悲しくさせたりする「不思議な言葉」、「魔法の言葉」を持っています。そんな言葉をこれからどう使っていくといいでしょうか。優しさと笑顔の溢れる「なかよし楓月間」の11月になるよう勉強しましょう。

← 金子みすゞ(1903年~1930年)

「あそぼう」とっていうと、
「あそぼう」とっていう。

「ばか」とっていうと、
「ばか」とっていう。
「もうあそばない」とっていうと、
「あそばない」とっていう。

そして、あとで、さみしくなって、
「ごめんね」とっていうと、
「ごめんね」とっていう。

こだまでしょうか。
いいえ、□も。

『こだまでしょうか』金子みすゞ 作



☆学年通信の紹介☆

『なかよく“さつまいも”を収穫したよ♪』(1学年)

6年生のお兄さんお姉さんに手伝ってもらいながら、つるでリースを作ったり、たくさんのおさつまいもを収穫したりしました。「うんとこしょ、どっこいしょしたら抜けた!」「先生!こんなに大きいのとれたよ!」と終始大興奮でした。12月2日(木)に、美味しいやさいもを食べるのが楽しみです!



『全校へと広がった“なかよしスマイル”』(5学年)

なかよし楓月間には、姉妹学級で様々な交流を行いました。「ペア読書」や「なかよしベルマーク」、「なかよし清掃」、「なかよしあいさつ」などです。児童会が中心となり、それぞれの活動に一生懸命に取り組んでいました。姉妹学級の子とも交流をする機会が増え、お兄さん、お姉さんとして、3年生にやさしく声をかける姿や、お手本となろうと黙々と掃除に取り組む姿など、立派でした。また、各学級でクラスの仲間のよいところを書いてはるといって、「なかよしスマイル」という活動も行いました。クラスの仲間、学年の仲間にはそれぞれにいくつものよいところがあります。今後も、友だちのよいところを積極的に伝えることを大事にしていってほしいと思います。

なかよし楓月間の様子 ~あなたも持っている「やさしさ」をもっと大切にしましょう~

ペア読書



「お話の内容より、絵本を読んでいる1年生を見ちゃいそう。」と6年生。

なかよし清掃



ごみをほうきで取ってくれたよ♪
ほうきのやり方を教えてくれたよ。

なかよしストレッチ☆RAN



姉妹学級の友だちと、校庭でなかよくマラソンやストレッチをしました。

今年のなかよし楓月間では、各委員会からの様々なアイデアを生かした提案により、子どもたちが主体的に取り組む姿がみられました。委員の頑張りや優しさが、こだまとなって返ったり、響いたりしたのだと思います。

地域との交流『佐久平総合技術高等学校での大豆収穫体験』

佐久平総合技術高等学校との交流学习で、3年生が大豆の収穫体験に行ってきました。高校生が今まで大切に育ててきた大豆を、一緒に収穫しながら、たくさんのお話をしました。前日降った雨のため、土がぬかるみ機械を使うことができなかつたため、みんなで腰を下ろして、一つ一つ鞘を取って丁寧に取り出す作業をしました。この作業をしながら、高校生とゲームの話をしたり学校生活の様子を伝えたり、ちょっぴり恋バナ(!?)もしたようでした。3年生の日記や感想を見ると「怖いと思っていた高校生が、優しいし、楽しいことが分かってよかったです。豆腐作りの交流が楽しみになりました。」とありました。コロナ禍で制限されていた地域との交流活動も再開し、子どもたちの心にも温かい出来事として刻まれたようです。



高校生と楽しく作業

今後の主な予定

★2月の参観日については、連学年ずつ3日間に分散しての開催し、学級懇談会も計画しております。日程については、下記の通りです。

<12月>	<1月>	<2月>
11/29(月)~12/10(金) 秋の読書旬間	7日(金) 3学期始業式	2日(水) スキー教室(4~6学年)
7日(火) 支部子ども会③	12日(水) 3学年スケート教室	5日(土) アンサンブル交歓会
9日(木)~15日(水) 個別懇談会	14日(金) 2学年スケート教室	8日(火) 児童総会
21日(火)~27日(月) 学期末清掃	20日(木) PTA理事会	10日(木) 参観日①(1~2学年)
27日(月) 3学期終業式	25日(火) 浅間中学校保護者説明会	15日(火) 参観日②(学習室)
28日(火)~1/6(木) 年末年始休業	27日(木) PTA代議員会	18日(金) 参観日③(3~4学年)
		22日(火) 参観日④(5~6学年)